

令和4年度

弘前市の地域課題への取り組み

地域の課題については、地域包括支援センターが地域住民や関係団体と一緒に解決に向けて取り組んでいます。地域だけでは解決が難しいものや、弘前市全体に影響するような課題もあります。それを弘前市の地域課題として市が中心となって解決に向けた取り組みを進めていますのでその一部を紹介します。



医療と介護の連携

市では、認知症の方やそのご家族などの介護者の方が、住み慣れた地域で安心して生活することができるよう「あおり医療・介護手帳」を交付しています。

医療機関の受診や介護サービスを受ける際に、この手帳を使って医療・介護関係者間で認知症の方の情報を共有することで、より適切な医療や介護サービスを受けられるようにするものです。

交付窓口は、市介護福祉課のほか、令和5年2月から愛成会病院も加わり、手帳の普及、活用促進に努めています。



複合的・重層的な課題に対する相談支援体制の強化



相談内容が多様化し、高齢者に関する相談の中で、一緒に住んでいる障がいを抱えた子や孫のことについてなど、複数の属性にまたがる相談が多くなりました。

そこで、福祉部関係課での情報共有や連携を図る手段として、相談事案に対する連絡箋を作成し、活用しています。また、庁内のその他の関係部署においても相談事案に係る情報共有や連携ができるよう準備を進めております。

さらに、地域福祉計画へ理念等を反映させ、様々な関係機関や団体とも連携できるように検討しているところです。